

令和7年度 横浜緑園高等学校 第1回学校運営協議会 記録

日時：令和7年6月11日（水）

15時00分～16時30分

場所：本校 会議室

司会 副校長

記録 広報・授業研究G

1 校長挨拶

人権教育研究指定校として国から認定。

神奈川県の指定としては2年間。国としては1年間。

コミュニティスクールについて、過去の県教委での経験を踏まえて運営として機能を強化。

2 学校運営協議会の開会にあたって

(1) 学校運営協議会委員の委嘱

橋井校長より新委員に委嘱状が交付された。

(2) 学校運営協議会委員及び事務局の紹介

大河原副校長より委員の方の紹介があり、委員の方よりご挨拶を頂いた。

武井委員（代理 口井様） 高山委員 小泉委員 前田委員 児玉委員

大河原副校長より事務局（学校職員）の方の紹介がおこなわれ、それぞれ自己紹介した。

(3) 学校運営協議会について

大河原副校長より説明。運営計画書により設置部会、年間計画等の説明。

(4) 会長及び副会長の選出

会長を小泉様、副会長を橋井校長として選出。

3 協議

小泉会長の進行により、次第の内容に従い協議を実施。

(1) 学校評価部会及び学校設置部会について

地域連携部会、教育交流部会の設置

(2) 神奈川県立横浜緑園高等学校の教育活動等について（報告）

令和6年度学校諸活動について（各GLより）

教務GL春日より報告が行われた。

昨年度より教務規定の変更あり。生徒が進路に合わせた科目を選択できる仕組みづくり。

広報・授業研究GL佐々木より報告が行われた。

今年度研究テーマ　主体的に学習に取り組む態度の育成を目指すICTの有効的な活用

生徒活動推進GL瀬田より報告が行われた。

学校行事等で協働する態度の育成。部活動の活性化。三ツ境支援学校分教室の生徒との交流。

生活支援GL増田より報告が行われた。

教育相談の充実。サポートドックの活用。生徒の声を中心としたジャージ着用のルールの議論。

進路・キャリア支援GL小島より報告が行われた。

今年度変更する進路指導内容の確認。

総務GL中村より報告が行われた。

PTAとの連携、分教室との交流、防災関連について取り組む。

学校運営協議会委員からのご意見

○口井委員

「人権教育、一年生に向けたキャリア教育、体育館使用禁止のため本校にできることがあれば協力したい。」

○高山委員

「ICTの活用について、ICTの活用が生徒の動機付けとなり、生徒が成長を実感すること

が大切である。また、漠然とICTの活用を目標にするのではなく、ゴール設定をおこなうことも考えてほしい。」

○前田委員

「中学校に足を運び、中学での学びを知った上で高校生に向き合うことで中高の接続の実現に繋がる。また、三観点の評価のつけ方やICTの活用の仕方についても中高で意見交換を行いたい。」

○児玉委員

「生徒のアルバイトのトラブルについて。高校生の労働時間を守らない会社がある。知識のない生徒は泣き寝入りしてしまう。特に1年生へのフォローが必要だと考える。」

10 協議・意見交換

- ・アルバイトについて

高校生のバイトトラブルが発生している。問題が起きても泣き寝入りしてしまう現状あり。

→進路GL 労働基準法の確認など、指導している。

→生活GL 学業に支障のないよう許可制としている。ただ、経済的な家庭の事情により必要とする生徒も多い。

- ・ I C T利活用について

→広報G L 中学校と高校で連携し、実践内容の共有をはかりたい。初任研の他校種訪問や公開研究授業など、今ある取組を活用して負担感なく共有できれば良い。

11 その他

第2回学校運営協議会 10月4日（土）

12 閉会

大河原校長より本協議会の閉会が告げられた。